

# 令和2年度 事業調査結果A スポーツ分野(令和元年度実施事業)

◎調査結果Aの対象事業は以下のとおりです。

調査結果Aの事業は、主に以下の(1)～(3)に該当する事業です。  
 (1) アカデミー推進計画(平成28年3月)のp16～79に掲載されている事業  
 (2) 基本構想実施計画(平成29～31年度)に掲載されている事業のうち、  
 中項目が「生涯学習」「文化振興」「スポーツ振興」「観光」「交流」の事業  
 (3) 令和元年度の重点施策事業のうち、「コミュニティ・産業・文化」分野に該当する事業  
 ※それ以外の事業は「令和2年度 事業調査結果B スポーツ分野」に掲載されています。

スポーツ		(所管課)
<b>【分野別目標1】 スポーツを身近に感じる機会の拡充</b>		
1	初心者向けスポーツ教室	スポーツ振興課
2	小・中学生向けスポーツ教室	スポーツ振興課
3	親子向けスポーツ教室	スポーツ振興課
4	体育の日事業	スポーツ振興課
5	東京2020大会 カウントダウンプログラム	スポーツ振興課
6	オリンピック・パラリンピックこども新聞	スポーツ振興課
7	BUNKYO2020「文の京めぐり」	スポーツ振興課
8	カウントダウンラグビーワールドカップ2019 ストリートラグビー体験	スポーツ振興課
9	あすチャレ！運動会「誰もが主役で参加できる運動会を作ろう」	スポーツ振興課
10	スポーツ・パブリックビューイング	スポーツ振興課
11	読売巨人軍との協定に基づく事業の実施	スポーツ振興課
12	文京LBレディース支援事業	スポーツ振興課
13	日本サッカー協会との協定に基づく事業の実施	スポーツ振興課
14	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開	スポーツ振興課
<b>【分野別目標2】 いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進</b>		
15	地域スポーツ団体の支援・育成	スポーツ振興課
16	個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス	スポーツ振興課
17	各種区民スポーツ大会等の開催	スポーツ振興課
18	文京区表彰要綱に基づく顕彰事業	スポーツ振興課
19	オリンピック・パラリンピック気運醸成補助金	スポーツ振興課
20	アウトドアスポーツ事業	スポーツ振興課
21	ジュニア・アスリート育成事業	スポーツ振興課
22	シニア向けスポーツ教室	スポーツ振興課
23	着衣泳講習会	スポーツ振興課
24	スポーツ指導者地域派遣	スポーツ振興課
25	スポ・レクひろば	スポーツ振興課
26	障害者のスポーツ施設利用促進事業	スポーツ振興課
27	障害者スポーツ体験教室	スポーツ振興課
28	障害者スポーツ指導員資格取得の支援	スポーツ振興課
<b>【分野別目標3】 スポーツ活動を支える環境の整備</b>		
29	スポーツ施設の整備と活用促進	スポーツ振興課
30	六義公園運動場管理棟等の改築	スポーツ振興課
31	まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開故事業	スポーツ振興課
32	学校施設の活用	スポーツ振興課
33	スポーツ交流ひろばの充実	スポーツ振興課/学務課
34	スポーツ推進委員会活動への支援	スポーツ振興課
35	スポーツ推進委員・スポーツリーダー等の委嘱	スポーツ振興課

<b>【分野別目標3】 スポーツ活動を支える環境の整備</b>		
36	スポーツ指導者の育成	スポーツ振興課
37	スポーツ指導者派遣	スポーツ振興課
38	スポーツボランティアの養成	スポーツ振興課
39	スポーツボランティア情報の発信	スポーツ振興課
40	スポーツ交流ひろば通信の発行	スポーツ振興課
41	地域スポーツ情報の提供	スポーツ振興課
42	各種メディアとの連携推進	スポーツ振興課
<b>【分野別目標4】 スポーツを通じた仲間づくりと交流</b>		
43(再掲)	社会教育関係団体登録制度による活動支援	スポーツ振興課/アカデミー推進課
44(再掲)	スポーツ交流ひろばの充実	スポーツ振興課
45(再掲)	スポーツボランティアの養成	スポーツ振興課
46	カイザーブラウテルン市長杯文京区少年サッカー大会	スポーツ振興課
47(再掲)	親子向けスポーツ教室	スポーツ振興課
48	ニューススポーツ教室・大会	スポーツ振興課

## 調査結果Aの記載内容について

調査結果Aの各項目については、以下の内容が記載されています。

- 「頁」
  - ・「アカデミー推進計画」の掲載ページ
- 「実施計画事業番号」
  - ・「文京区基本構想実施計画(平成29年度～31年度)」の事業番号
- 「事業名」
  - ・事業名
- 「事業概要」
  - ・事業概要
- 「事業費」
  - ・事業に係る予算及び決算
- 「実績(数)」
  - ・当初予定数(定員)：当初予定していた参加者数や発行部数等(事業の定員や予算計上時の積算数等)
  - 実績数：実際の参加者数、発行部数等
  - 申込数：申込者数等
- 「参加者満足度」
  - ・事業でアンケートを実施した場合、「満足」や「よかった」と回答した割合
- 「事業実施内容」
  - ・令和元年度事業の実施状況
- 「成果」
  - ・事業で得られた成果
- 「課題」
  - ・不十分だった点や改善すべき点
- 「課題解決に向けた取組」
  - ・課題解決に向けた今後の事業の取組
- 「担当課」
  - ・事業を担当する課

令和2年度 事業調査結果A スポーツ分野(令和元年度実施事業)

【分野別目標1】 スポーツを身近に感じる機会の拡充

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課		
【基本的な方向性(1)】 スポーツの楽しさを知る機会の創出														
1	28		初心者向けスポーツ教室	区民が気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催する。	予算	—	当初予定数(定員等)	85人	—	アーチェリー:6月及び7月、全6回実施(総合体育館) 合気道:10月及び11月、全6回実施(総合体育館) 弓道:6月、全6回実施(スポーツセンター)	初心者でも気軽に体験できる機会を作る事ができた。	弓道については応募人数が多く、2倍近くの倍率になっている。	—	スポーツ振興課
					決算	—	実績数	75人	88.2%					
							申込数	107人	125.9%					
2	28		小・中学生向けスポーツ教室	子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、スキー、ローラーズスポーツ等のスポーツ教室を開催する。	予算	352	当初予定数(定員等)	—	—	・ジュニアスキー教室(施設改修工事のため中止) ・ジュニアローラーズスポーツ教室(新型コロナウイルス感染症の影響で中止)	—	—	—	スポーツ振興課
					決算	0	実績数	—	—					
							申込数	—	—					
3	28		親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子で気軽に参加することができるスポーツ教室を開催する。	予算	364	当初予定数(定員等)	104人	—	・親子はげ釣り教室:7月20日(土)実施(旧中川河川敷) 定員:80人 参加数:36組72人 応募数:107組291人 ・親子ボウリング教室:8月31日、9月7日・14日(土)全3回実施(東京ドームボウリングセンター) 定員:12組24人(3日実施) 参加者数延べ36組72人 応募数:102組205人	親子で気軽に楽しくスポーツをする機会を創出することができた。また、多くの子どもたちが2種目に対し興味、関心を持った。	両教室とも応募数が多く、抽選倍率が高い。	—	スポーツ振興課
					決算	376	実績数	144人	138.5%					
							申込数	296人	284.6%					
4	28		体育の日事業	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、体育の日事業を開催する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	バドミントン元オリンピックの森久子さんや東京ユナイテッドFCの選手を招き教室を行った。また、竹早テニスコートでは沢松奈生子さん指導のテニス教室を開催予定であったが、台風の影響を受け、屋内でのトークイベントに変更した。上記以外にも様々な教室を実施し、また、各スポーツ施設の無料開放を行った。	令和元年度は3,507人が来場した。	雨天の場合、特に屋外施設の来場者数が伸び悩む。また、今後は新型コロナウイルス感染症拡大防止を念頭に事業を実施する必要がある。	—	スポーツ振興課
					決算	—	実績数	3,507人	—					
							申込数	3,507人	—					
5		ス03-02	東京2020大会気運醸成イベント	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、シンポジウムや講演会、区民が参加できる体験イベントや企画展などを開催し、大会への気運醸成及び競技等への理解促進を図る。	予算	25,773	当初予定数(定員等)	—	—	・令和元年8月11日に東京2020大会1年前の気運醸成イベントとして、男子チアリーダーチーム「SHOCKERS」の公演を開催し、オリンピック・パラリンピック要素を盛り込んだパフォーマンスを行った。 ・東京2020パラリンピック競技大会開催1年前に合わせて、文京区コミュニティバスB-ぐるに東京2020大会マスコットのラッピングを施し、広告運行を開始した。 ・令和元年9月26日より28日まで、東京2020オリンピック競技大会開催300日前を記念し、過去のオリンピックや1964年聖火リレーに関する企画展を実施した。 ・令和元年10月27日、講道館柔道の創始者である嘉納治五郎の生誕及びパラリンピック300日前を記念し、柔道の技を用いた転倒防止セミナーを開催した。 その他、庁内イベントでのオリンピック・パラリンピックブース等計23件の事業を開催・参加した。	オリンピック1年前や300日前、パラリンピック1年前や300日前に合わせて「BUNKYO2020カウントダウン」を開催したほか、区内競技団体、企業等と連携し、講演会や企画展を実施することで大会への気運醸成に繋げることができた。	新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めるとともに、社会状況を見極め、延期した2021年の大会時まで、気運を維持し続ける必要がある。	ホームページや建物装飾等を活用し、人を集めない形で気運醸成を図る。	スポーツ振興課
					決算	15,818	実績数	11,676人	—					
							申込数	—	—					

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)		実績(数)		参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課	
					予算	当初予定数(定員等)	実績数	申込数							
6		ス03-02	オリンピック・パラリンピック 子ども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じて伝える。	予算	8,514	当初予定数(定員等)	—	—	—	・子ども記者及び編集サポーター登録数82名(令和2年3月) ・年間2回、各号約10万部を発行した。 第7号(8月27日)/BUNKYO RUGBY DAY、JOC オリンピック教室郊外編、日本×ドイツ親善交流演奏会、和太鼓グループ「鼓童」、「いだてん」 トークショー、Let's 55、国際女性会議WAW!、読響 東京2020パラリンピック応援コンサート等 第8号(12月27日)/ハンドボール女子日本代表、 第11回太田雄貴フェンシング大会、パラバドミントン イギリス代表、東京2020パラリンピック競技大会1年前セレモニー、パラアーチェリー永野美穂選手インタビュー、文京シビック柔道教室、早稲田大学男子チアリーディングチーム SHOCERS、文京クリスマスマーケット2019等	オリンピック・パラリンピックの、スポーツとしての側面だけでなく、国際交流や文化等についても取材を行い、子どもたちの言葉を通じて発信することにより、保護者や区民から共感を得ることができた。	昨年より子ども記者の登録者数が減り、また記者の記事作成をサポートできる編集サポーターも不足している。	連絡会議の場で周知を図るなど、事業の認知度を高めることにより、区立小・中学校や区内大学と連携を強化し、子ども記者及び編集サポーター登録者数の増加を図る。	スポーツ振興課
					決算	6,497	実績数	82人	—						
							申込数	—	—						
7		BUNKYO2020「文の京めぐり」	オリンピック・パラリンピックに関する資料や区のアカデミー推進部事業の紹介、大会へのカウントダウンや大会関連行事が記載された手帳を作成する。	予算	3,407	当初予定数(定員等)	—	—	—	B6サイズの手帳に以下の内容を盛り込み、オリンピック・パラリンピック関連事業で広く区民に配布する予定であった。 ・オリンピック・パラリンピック関連行事の記載 ・大会までのカウントダウン記載 ・オリンピック競技の紹介 ・オリンピック選手の紹介 ・競技スケジュールの記載	新型コロナウイルスの影響により、東京2020大会が延期したため、配布を取りやめた。	事業終了	事業終了	スポーツ振興課	
				決算	1,964	実績数	—	—							
						申込数	—	—							
8		カウントダウンラグビーワールドカップ2019 ストリートラグビー体験	ストリートラグビー体験及び各種ラグビーコンテンツを通じて、ラグビー競技への興味・関心を高め、ラグビーワールドカップの観戦や応援の動機付けとする。	予算	5,691	当初予定数(定員等)	—	—	—	文京区ラグビー協会やラグビートップリーグチーム等と連携し、ラグビーの各種プレー体験や試合観戦のポイント解説等を行った。 ＜実施内容＞ ・ストリートラグビー体験 ・ラグビー観戦のポイント解説 ・タックルマシーン体験 ・ラインアウト体験 ・ジャンピングトライ体験 ・ラグビーボールスロー体験 ・ポッチャ体験	ラグビーを「する」、「観る」の観点から幅広く区民にその魅力を発信できた。	ラグビーワールドカップ後も、区民に向けてラグビーの魅力や、体を動かす楽しさを伝えることが重要である。	スポーツ関係団体等と連携し、タグラグビー教室等を実施する。	スポーツ振興課	
				決算	5,691	実績数	1,400人	—							
						申込数	—	—							
9		あすチャレ！運動会「誰もが主役で参加できる運動会を作ろう」	日本財団パラリンピックサポートセンターが実施するプログラム「あすチャレ！運動会」を活用し、パラリンピック種目を含む様々な競技を体験する場を提供する。	予算	3,613	当初予定数(定員等)	100人	—	—	年齢や性別、体力差、障害の有無等に関わることなく、パラスポーツを通して、誰もが楽しい時間を共有しながら、チーム間のコミュニケーション、結束力等を醸成する運動会『あすチャレ！運動会』を開催した。 ＜実施内容＞ ・シッティングバレーボール ・ゴールボール ・車いすポートボール ・車いすリレー	障害者にとってのバリア(障壁)への気付きやコミュニケーション・チームプレーの大切さ等を共有し、参加者全員で協力し合いながら運動会を作り上げたことで、スポーツを通じて障害への理解を深めることができた。	障害者スポーツの知名度向上や、競技の魅力を発信していく必要がある。	障害者スポーツを体験・理解できる機会の提供となるよう、様々な競技団体との連携を強化し、積極的かつ適切なアプローチを図る。	スポーツ振興課	
				決算	1,442	実績数	71人	71.0%							
						申込数	—	—							

【基本的な方向性(2)】 スポーツ観戦の場と機会の拡充

10	29	ス03-02	スポーツ・パブリックビューイング	区民ひろばやシビックホールなどで、ワールドカップやオリンピック・パラリンピックなどのパブリックビューイングを開催し、皆で観戦する楽しさを共有する。	予算	2,859	当初予定数(定員等)	—	—	—	(1)B.LEAGUE CHAMPIONSHIP 2018-19 実施日:5月11日(土) 開催場所:地下2階区民ひろば 参加人数:50人 (2)バスケットボール日本代表国際親善試合2019 実施日:8月22日(木)・24日(土) 開催場所:地下2階区民ひろば 参加人数:90人 (3)ラグビーワールドカップ2019 実施日:9月20日(金)・10月13日(日) 参加人数:1750人 開催場所:東京ドームラクアガーデン	多くの区民にスポーツを応援する楽しさを伝えることができた。	競技ごとにより集客数の格差があるため、競技・チームのファンだけでなく幅広い層に競技・スポーツの魅力を伝えていく必要がある。	広報の手法を工夫するほか、関係団体に協力を依頼する。	スポーツ振興課
					決算	1,280	実績数	1,890人	—						
							申込数	1,890人	—						

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)		実績(数)		参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課	
					予算	決算	当初予定数(定員等)	実績数							申込数
11	29	ス03-01	読売巨人軍との協定に基づく事業の実施	読売巨人軍との協定に基づき、観戦事業のほか、選手との触れ合いの場や走り方・投げ方教室等の各種事業を展開する。	予算	1,004	当初予定数(定員等)	520人	—	—	(1)小学生ボール投げ&走り方教室 実施日:①4月コース(4/13(土)及び4/20(土)の2日間) ②5月コース(5/11(土)及び5/18(土)の2日間) 区分:小学1・2年生親子の部、小学3・4年生親子の部 定員:各コース各部40組(延べ160組320人) 実績:①4月コース 78組156人(申込248組) ②5月コース 76組152人(申込171組) (2)2019読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 実施日:9月16日(祝月) 定員:200名 実績:172名(申込333名) (3)文京区ファミリー招待 in ジャイアンツ球場 新型コロナウイルス感染症により中止	読売巨人軍との各種事業を通じて、「観る」、「する」スポーツを推進することができた。	「観る」スポーツを推進するため、新たにジャイアンツ球場での試合観戦ツアーを企画していたが、新型コロナウイルス感染症により中止となった。	読売巨人軍と連携して、新規事業を模索しながら、安定的に事業を継続することで、野球を通じた「観る」、「する」スポーツを推進する。	スポーツ振興課
					決算	641	実績数	481人	92.5%						
							申込数	1,171人	225.2%						
12	29	ス03-01	文京LBレディース支援事業	地域の大学や企業との連携により設立した女子サッカーチーム「文京LBレディース」の活動を支援し、区民等が身近なチームの試合観戦を通じて、地域で応援できる環境を整える。	予算	0	当初予定数(定員等)	—	—	—	区報6/10号で、東京都女子サッカーリーグのうち、文京LBレディースの試合日程を掲載した。また、相互協力協定に基づき、練習会場を提供した。	区報に掲載することで、文京LBレディースに認知度を上げ、試合観戦の動機づけとなった。	—	—	スポーツ振興課
					決算	0	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
<b>【基本的な方向性(3)】 プロスポーツ等団体との連携・協力</b>															
13	30	ス03-01	日本サッカー協会との協定に基づく事業の実施	スポーツをより身近なものとするため、日本サッカー協会との協定に基づき、サッカー教室等をはじめ、各種事業を展開する。	予算	349	当初予定数(定員等)	90人	—	—	日本サッカー協会から日本代表コーチの齋藤俊秀氏を招き、ジュニアサッカー教室を実施した。  実施日:12月21日(土) 場所:小石川運動場 対象:区内在住、在学の小学3から6年生 定員:90名 申込数:113名 実績:91名	初心者から経験者まで、競技レベルに応じてサッカーの技術を学び、体を動かすことの楽しさや喜びを味わうことができた。	日本サッカー協会が拠点を置く本区の特徴を活かし、継続的にサッカーをツールとしたスポーツ事業を展開する必要がある。	サッカー日本代表の国際試合のパブリックビューイング等、機会を捉えて日本サッカー協会との確に連携を深める。	スポーツ振興課
					決算	299	実績数	91人	101.1%						
							申込数	113人	125.6%						
14	30	ス03-01	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開	区内に拠点を置くプロスポーツ団体・企業・大学等との協働により、各種スポーツの体験教室及びスポーツ観戦事業を実施する。	予算	5,685	当初予定数(定員等)	—	—	—	区内に拠点を置く様々なスポーツ団体等と各種教室や観戦イベント等を34事業実施した。主な団体は以下のとおり。 ・読売巨人軍 ・トヨタ自動車株式会社 ・アルパルク東京 ・文化シャッター株式会社 ・ヨネックス株式会社 ・株式会社東京ドーム ・日本サッカー協会 ・日本バスケットボール協会 ・CLUB LB & BRB ・東京大学 ・日本財団パラリンピックサポートセンター ・日本ブラインドサッカー協会 など	様々な団体と着実に事業を実施したほか、ラグビーワールドカップ2019日本大会関連や障害者スポーツなど、新たな協働・連携の幅を広げたことで、「する」、「観る」スポーツを推進した。	東京2020大会の延期や新型コロナウイルス感染症拡大等の社会状況の変化の中、感染防止を図り安全に事業を運営する。	事業規模の縮小や、時間の短縮、分散等、事業の特性に応じた感染症対策を徹底した上で事業を実施する。	スポーツ振興課
					決算	4,578	実績数	34事業	—						
							申込数	—	—						

令和2年度 事業調査結果A スポーツ分野(令和元年度実施事業)

【分野別目標2】 いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課				
【基本的な方向性(1)】 スポーツを楽しむ人を増やす																
15	31		地域スポーツ団体の支援・育成	各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	○派遣件数:127単位 スポーツ推進委員:69単位 スポーツリーダー:58単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2-3時間程度)	昨年度に比べわずかに派遣単位数は増加し、新規団体からの申請も増加した。	実績が少ない競技への派遣を増加させるため、周知に注力する必要がある。	HP・SNS等を有効に活用し、指導者地域派遣制度を周知する。	スポーツ振興課		
					決算	—	実績数	127 単位								
							申込数	127 単位								
16	31		個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス	水泳、卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、ビーチボール、合気道、弓道、アーチェリー、柔道、剣道、ミニテニスなどの種目について、指導員を配置し、個人向けにスポーツ施設を開放する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	スポーツセンター、総合体育館及び江戸川橋体育館で一般公開を実施した。	スポーツセンター:延べ11,699人 総合体育館:延べ10,251人 江戸川橋体育館:延べ4,283人が利用しました。  昨年度に比べて、スポーツセンターは約3,800人利用者が増加している。外2施設についても、利用者数は横ばいである。	昨年度に比べて、スポーツセンターは利用者が増加し、外2施設については、利用者数は横ばいである。	—	スポーツ振興課		
					決算	—	実績数	26,233 人								
							申込数	—								
17	31		各種区民スポーツ大会等の開催	区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会の場合として、各種区民スポーツ大会を開催する。	予算	7,484	当初予定数(定員等)	—	—	区民大会参加者数:延8,138人 区民大会派遣人数:延268人 スポーツ少年団交流事業(ポッチャ大会・11/24日):227人	文京区体育協会加盟団体数、区民大会数は昨年度と同様。 台風19号・新型コロナウイルス感染症の影響で大会が中止となり、区民大会の参加人数は減少した。	—	—	スポーツ振興課		
					決算	7,046	実績数	8,633 人								
							申込数	8,633 人								
18	31		文京区表彰要綱に基づく顕彰事業	スポーツの分野で、全国規模の大会等において、優秀な成績や優れた功績があった区内の選手・団体に対し、表彰する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	アルバルク東京優勝報告Bリーグ2018-2019シーズンにおいて優勝、令和元年5月16日に区長表敬訪問 バックベアード(ビーチボール)表敬訪問第1回ジュニアビーチボール全国大会YATSUOカップで優勝、令和元年12月18日に区長表敬訪問	区内に拠点を置くスポーツ団体や学校、個人からの申出により、区長表敬訪問を実施した。区民への競技周知や、団体・競技者のモチベーションアップの一助となっている。	区立小・中学校やスポーツ関連団体への周知を行い、区ゆかりのアスリートとして応援できるような関係性を構築したい。	—	スポーツ振興課		
					決算	—	実績数	8 人								
							申込数	8 人								
19			オリンピック・パラリンピック気運醸成補助金	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた事業等の運営に要する経費を補助することにより、東京2020大会の気運を醸成するとともに、区内の生涯学習、スポーツ、文化芸術、観光、国際交流等の振興及びレガシーの創出に寄与する。	予算	1,200	当初予定数(定員等)	6 件	—	—	交付申請3件 交付決定事業3件(前年差±0件)	新規団体の申請が1件増加した。	事業終了	事業終了	スポーツ振興課	
					決算	600	実績数	3 件								50.0%
							申込数	3 件								50.0%

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課			
<b>【基本的な方向性(2)】 多様なニーズに対応するプログラムの提供</b>															
20	32		アウトドアスポーツ事業	親子や参加者同士の交流を深めるとともに、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動を推進するため、東京近郊での軽登山やノルディックウォーキングなどの自然のなかで楽しめるスポーツ事業を実施する。	予算	1,001	当初予定数(定員等)	170人	—	—	・ファミリーハイキング教室 日程:5月31日(金) 場所:奥多摩むかし道 定員:70人 参加人数:58名 応募数:141人 ・ぶんきょうウォーキング教室 日程:11月3日(祝・日) 場所:六義公園⇒東洋文庫⇒富士神社⇒吉祥寺⇒南谷寺⇒駒込土物店跡⇒本駒込⇒白山神社⇒東洋大学⇒小石川植物園⇒極楽水跡⇒石川啄木終焉の地⇒ミーツポートガーデン 定員:100人 参加人数:67人 応募数:96人	手軽に参加できるため、運動をより身近なものにとらえるきっかけづくりとなった	より魅力的なコース選定を行い、安定した参加者数を確保することが必要である。	委託しているスポーツ推進委員会と、事業がより魅力的となるよう協議を重ねる。	スポーツ振興課
					決算	855	実績数	125人	73.5%						
							申込数	237人	139.4%						
21	32		ジュニア・アスリート育成事業	区内大学及びプロスポーツ団体等との協働により、ジュニア選手を発掘、育成、強化し、スポーツ活動を通じて、心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図る。	予算	476	当初予定数(定員等)	—	—	—	なし	陸上の実技講習はこれまで講師を務めていた順天堂大学の講師が翌年に迫るオリンピックの関係によりスケジュールが組めなかった。また、同じく順天堂大学講師による区民向けの公開講座を計画していたが、講師と日程の調整がつかず未実施。	令和2年度も陸上の実技講習は実施できる見込みがないため、オリンピック終了後の事業継続の可能性を探っていく必要がある。	順天堂大学と調整を継続する。	スポーツ振興課
					決算	0	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
22	32		シニア向けスポーツ教室	高齢者にスポーツの機会を提供するため、水泳や体操などの種目や運動など、シニア世代がスポーツを楽しむことのできる教室を実施する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	—	60歳以上の方を対象として、高齢者水泳+健康体操教室、シニア健康体操教室及び高齢者水中ウォーキング教室を実施した。	・高齢者水泳+健康体操教室:延べ469名 ・シニア健康体操教室:延べ566名 ・高齢者水中ウォーキング教室:延べ1,247名	高齢者水中ウォーキング教室について定員を超える応募がある。	全ての事業において、定員近く、またはそれ以上の応募があるため、現状維持	スポーツ振興課
					決算	—	実績数	2,247人	—						
							申込数	2,247人	—						
23	32		着衣泳講習会	海水浴や川遊びなど夏のレジャーシーズンを前に、水の事故に遭遇した際の自己対処法を学ぶため、着衣泳教室を実施する。	予算	—	当初予定数(定員等)	30人	—	—	令和元年度6月30日に、総合体育館にて実施した。	令和元年度は35人参加しました。	プール水抜き前の実施のため、限られた開催となる。	-	スポーツ振興課
					決算	—	実績数	35人	116.7%						
							申込数	35人	116.7%						
<b>【基本的な方向性(3)】 スポーツをともに楽しむ意識の醸成</b>															
24	33	ス02-01	スポーツ指導者地域派遣	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進し、スポーツ・レクリエーション活動を行う団体を育成する。	予算	435	当初予定数(定員等)	—	—	—	○派遣件数:127単位 スポーツ推進委員:69単位 スポーツリーダー:58単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2-3時間程度)	昨年度に比べわずかながらであるが、派遣単位数が増加し、新規団体からの申請も増加した。	実績が少ない競技への派遣を増加させるため、周知に注力する必要がある。	区ホームページ、SNS等を有効に活用し、認知度を高めるほか、社会教育関係登録団体への情報提供や各種事業実施時等においても制度を周知する。	スポーツ振興課
					決算	381	実績数	127単位	—						
							申込数	127単位	—						
<b>【基本的な方向性(4)】 障害者スポーツの普及振興</b>															
25	34		スポ・レクひろば	知的障害のある方を主な対象に各種スポーツ・レクリエーション活動を行い、楽しみながら体を動かすことを通して、仲間づくりの機会とスポーツへのきっかけづくりの場を提供する。	予算	694	当初予定数(定員等)	11回	—	—	(1)スポ・レクひろば 開催数:年8回 対象:高校生以上で区内に在住・在勤・在学する愛の手帳を取得した者 場所:文京総合体育館、区民センターほか 内容:大玉ころがし、フライングディスク、風船バレーなどの軽スポーツ及びレクリエーション (2)4区合同レクリエーション大会 実施日:12月1日(日) 対象:(1)に同じ 場所:台東区リバーサイドスポーツセンター 内容:第2ブロックの4区が合同で作り上げる運動会	スポ・レクひろばに繰り返し参加する方も多く、レクリエーション・スポーツをきっかけとした仲間づくりや、社会参加の促進に繋がった。	知的障害者が、スポーツ活動を通じて積極的に社会参加できるよう、継続した事業を展開すること。	年間を通して、定期的にスポ・レクひろばを実施するとともに、参加者の増加を図る。	スポーツ振興課
					決算	670	実績数	9回	81.8%						
							申込数	—	—						

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)		実績(数)		参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課	
					予算	決算	当初予定数(定員等)	実績数							申込数
26	34		障害者のスポーツ施設利用促進事業	障害のある方に地域のスポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、東京都障害者総合スポーツセンターの協力のもと、個人での利用をサポートする事業を行う。	予算	-	当初予定数(定員等)	-	-	-	軽体操・トレーニング5回、水泳1回を実施した。	延べ48名の参加があった。	個人での施設利用につながりにくく、東京都障害者スポーツセンターを利用することが多い。	スポーツ施設の利用促進のため、また使用したいと思えるようなプログラムを考案するよう指定管理者に提案する。	スポーツ振興課
					決算	-	実績数	48人	-						
							申込数	-	-						
27	34		障害者スポーツ体験教室	障害の有無に関わらず、スポーツを楽しむ機会を確保するため、様々な障害者スポーツを「する」「観る」事業を実施する。	予算	981	当初予定数(定員等)	50人	-	-	・文京サッカーチャレンジDay 日程:令和2年2月24日(月祝) 場所:小石川運動場 定員:50名程度 参加人数:約80名 内容:ブラインドサッカー体験(free bird mejirodai・TOKYO UNITED FC) ウォーキングサッカー(日本サッカー協会)	ブラインドサッカーのクラブチーム free bird mejirodaiおよびTOKYO UNITED FCの協力で、ブラインドサッカー競技体験を行った。日本サッカー協会の協力でウォーキングサッカーを同時開催したところ、定員を超過する80名ほどの参加があった。	例年、障害者スポーツ事業は、内容にかかわらず参加者を確保するのが難しい。興味関心を引く事業内容・周知方法を工夫する必要がある。	今回、ほかのメジャーなスポーツと組み合わせることで参加者増につながった。今後、参加者へのアンケート実施等によりニーズを把握するとともに、事業内容を検証・改善する。	スポーツ振興課
					決算	420	実績数	80人	160.0%						
							申込数	80人	160.0%						
28	34		障害者スポーツ指導員資格取得の支援	障害者スポーツを「支える」人材を育成し、障害者スポーツの普及振興を図るため、スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得するための費用の助成や活動の場についてサポートを行う。	予算	831	当初予定数(定員等)	各区12人程度	-	-	・初級障害者スポーツ指導員養成講習会 日程:2/29(土)・3/1(日)・3/8(日)・3/14(土)・3/15(日) 会場:総合体育館、江戸川橋体育館 対象:区内在住・在学・在勤で18歳以上の障害者スポーツに関心があり、今後かわっていきたいと考えている方	第2ブロック持ち回りの講習で、令和元年度は文京区が幹事区。東京都障害者スポーツ協会に委託して実施する予定だったが、コロナウイルスの感染拡大により、中止した。	-	-	スポーツ振興課
					決算	93	実績数	-	-						
							申込数	41人	-						



令和2年度 事業調査結果A スポーツ分野(令和元年度実施事業)

【分野別目標3】 スポーツ活動を支える環境の整備

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課		
【基本的な方向性(1)】 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備														
29	35		スポーツ施設の整備と活用促進	区立スポーツ施設の快適な環境への整備をはじめ、区立学校施設等の活用による、スポーツ活動の場の整備を進めていく。	予算	300	当初予定数(定員等)	—	—	中央大学と相互協定を結び、後楽園キャンパスのテニスコートを利用した事業を行った。	中央大学のテニスコートで、1期6日間のテニス教室を、計3回行った。各コースは小学1～3年生の部、親子初心者の部、成人初心者・初級者の部、成人中級者・上級者の部の4つのクラスを設け、定員は8名(成人中級者・上級者の部は10名)として実施した。	中央大学のテニスコートは令和2年度以降工事のため、使用不可となっている。	中央大学のテニスコート利用は単年であったため、新しい協力先を探していく。	スポーツ振興課
					決算	300	実績数	—						
							申込数	—						
30			六義公園運動場管理棟等の改築	六義公園運動場の老朽化した管理事務所を、施設全体でバリアフリー化を図り、ミーティングルーム、更衣室やだれでもトイレが整備された、だれでも安全で快適なスポーツを楽しむことができる管理事務所棟に改築する。	予算	110,055	当初予定数(定員等)	—	—	改築期間: 令和元年6月から令和3年1月まで 改築内容: だれでもトイレの整備、エレベーター設置等によるバリアフリー化、全館空調(冷暖房)設備の整備等	埋蔵文化財発掘調査や新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響で工期が延長となったが、仮事務所を設置し、仮囲いの中で工事すること等、一部期間を除いて休場することなく、工事が進んでいる。	小石川運動場、後楽公園少年野球場及び竹早テニスコートの屋外施設について、グラウンドやコート面等で老朽化が進んでいる。	小石川運動場については、令和2年度にベンチシェルター及びベンチシートの設置や人工芝の部分改修を行う予定である。	スポーツ振興課
					決算	110,484	実績数	—						
							申込数	—						
31			まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業	子どもが外で自由に遊ぶ場所が不足している現状をふまえ、屋外スポーツ施設(六義公園運動場及び後楽公園少年野球場)を活用し、未就学児童を対象に外遊びの機会を提供する。 1 あおぞらすすくすく広場 →施設の無料開放。(個人向け、園庭のない保育園等向け) 2 親子すすくすく教室 →未就学児とその保護者向けのスポーツ教室 3 園児すすくすくプログラム →園庭のない保育園等を対象として、後楽公園少年野球場にてスポーツプログラムを実施する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	1 あおぞらすすくすく広場 定員: なし 年間延べ実施日数: 56日 年間延べ参加人数: 3,253人  2 親子すすくすく教室 定員: 1期あたり20組40名、全4期 年間延べ実施日数: 22日 年間延べ参加人数: 462人  3 園児すすくすくプログラム 定員: 1園20～30名程度 年間延べ実施回数: 19回 年間延べ参加人数: 386人  1は指定管理料に含まれる。 2及び3の委託費及び消耗品費564千円	屋外運動場の比較的予約の取れないコマを利用し、未就学児の外遊びの機会を提供できた。	あおぞらすすくすく広場は広く周知されておらず、参加者が特定の保育園児のみとなっている。また、夏季は熱中症予防の観点から、実施することができていない。	区報、HP、SNS等を有効に活用するほか、チラシにより広報活動する。夏季の実施については、屋内施設の空いている時間帯の利用を検討する。	スポーツ振興課
					決算	—	実績数	—						
							申込数	—						
32	20		学校施設の活用	区立小・中学校の屋内運動場・格技室・教室・校庭を地域の団体等に開放する。(余裕教室の社会的教育的利用、夜間管理の分離)	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	元年度実績 小学校 5,638件 中学校 4,483件	例年、小・中学校合わせて1万件前後の利用があり、地域住民の身近なスポーツ・生涯学習の活動の場として定着している。	学校ごとの利用申込みのため、利用のしやすさが課題である。	施設予約システム導入に向け検討する。	スポーツ振興課/学務課
					決算	—	実績数	10,121 件						
							申込数	—						
33	31	ス01-01	スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放する。 夏季には昭和小及び音羽中でプール一般開放を実施、その他育成会等の申請によりプール団体開放を実施する。	予算	13,875	当初予定数(定員等)	—	—	スポーツ交流ひろば: 延べ1,441日実施、延べ28,109人参加した。 学校プール一般開放: 延べ11日(3日は台風の影響または高温のため中止)実施、延べ1,192人参加した。 学校プール団体開放: 3校で実施した(1校は申請があったが、低温のため中止した)。 学校プール団体開放: 延べ8日(1日は低温のため中止)実施、延べ663人参加した。	指導員及び運営委員会の高齢化と、後継者不足。	2年に一度の委嘱の際に、指導員や運営委員会に後継者の推薦を依頼する。	スポーツ振興課	
					決算	11,610	実績数	29,964 人						
							申込数	—						



整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課			
【基本的な方向性(2)】 スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化															
34	36		スポーツ推進委員会活動への支援	スポーツ推進委員会への研修会の実施や委託事業等を通じて、活動への支援を実施する。	予算	—	当初予定数(定員等)	実績のとおり	—	—	○スポーツ推進委員会委託事業 ・ファミリーハイキング教室(6/2 参加人数:58人) ・ウォーキング教室(11/3 参加人数:67人) ・ニュースポーツ教室(通年、大会:3月8日(中止)教室参加人数:人 大会参加人数:0人(中止)) ・文京スキー教室(中止)	ドッチビー大会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止、文京スキー教室は施設改修工事で中止となった。	より魅力的なコース選定を行い、安定した参加者数を確保することが必要である。	HP・SNS等を有効に活用し、指導者地域派遣制度を周知する。	スポーツ振興課
					決算	—	実績数	実績のとおり	—						
							申込数	実績のとおり	—						
35	36		スポーツ推進委員・スポーツリーダー等の委嘱	スポーツ推進委員やスポーツリーダー等を委嘱する。	予算	—	当初予定数(定員等)	実績のとおり	—	—	○委嘱人数 スポーツ推進委員(定員33) 31名【内訳】体協加盟団体・健全育成会等からの推薦:23名 公募:8名 ・スポーツリーダー(定員なし、体協加盟団体、地域スポーツ団体等からの推薦) 39名	経験豊富なスポーツ推進委員やスポーツリーダーが引き続き委嘱された。	平成30年度からスポーツ推進委員は定員割れの状態になっている。	推薦依頼先の団体・学校等に対して、より積極的に働きかけるとともに、委員及び委員会の役割や活動の効果的な広報に注力する。	スポーツ振興課
					決算	—	実績数	実績のとおり	—						
							申込数	実績のとおり	—						
36	36	ス02-01	スポーツ指導者の育成	スポーツ指導者の資質向上を図るため、スポーツ推進委員、スポーツリーダー、スポーツ交流ひろばの指導員等を対象に各種研修会を実施する。	予算	78	当初予定数(定員等)	150人	—	—	指導者講習会 ・応急救護訓練(5/16 参加人数:37人 講師:本郷消防署) ・車いすバスケットボール体験講習会(10/17 参加人数:36人 講師:三宅克己氏) ・ダブルダッチ指導講習会(1/16 参加人数:26人 講師:ダブルダッチ協会公認インストラクター)	スポーツ事業を企画・運営する上で必要な知識や技術を習得すると共に、指導者としてレベルアップするために必要な内容を、毎年工夫して提供している。	定員に対して受講の申し込みが少ない。	体育協会加盟団体への周知や、対象者への受講勧奨の方法や、必要性のアピール等を工夫する。	スポーツ振興課
					決算	71	実績数	99人	66.0%						
							申込数	99人	66.0%						
37	36	ス02-01	スポーツ指導者派遣	自主的なスポーツ活動を行う区民の団体等へスポーツ指導者を派遣し、スポーツの競技力を向上させる。	予算	465	当初予定数(定員等)	—	—	—	○派遣件数:127単位 ・スポーツ推進委員:69単位 ・スポーツリーダー:58単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2-3時間程度)	昨年度に比べわずかであるが派遣単位数は増加し、新規団体からの申請も増加した。	実績が少ない競技への派遣を増加させるため、周知に注力する必要がある。	HP・SNS等を有効に活用し、指導者地域派遣制度を周知する。	スポーツ振興課
					決算	381	実績数	127単位	—						
							申込数	127単位	—						
【基本的な方向性(3)】 スポーツボランティア等の活動支援															
38	37	ス01-03	スポーツボランティアの養成	「支えるスポーツ」の担い手として、スポーツボランティアを登録、養成、派遣する。	予算	1,764	当初予定数(定員等)	—	—	—	・スポーツボランティア登録者数:157人 令和元年度スポーツボランティア派遣人数:323人 スポーツボランティア養成講座全4回:受講者延べ20人	スポーツ事業・オリンピック・パラリンピック気運醸成事業を中心に、従事を依頼した。また、区外の自治体・ボランティア団体との連携により、区内で実施していない競技スポーツへの派遣数が増加した。区内学校の生徒を中心に新規のボランティア登録数が増加した。	東京2020大会の気運醸成及び大会成功の一助となるよう、より多くの事業への参加と、適した人材を確保する必要がある。	引き続き、区主催以外の事業へも派遣を積極的に行うほか、効果的な事業周知の工夫とSNS等により活動の露出を図る。	スポーツ振興課
					決算	980	実績数	事業実施内容のとおり	—						
							申込数	—	—						
39	37	ス01-03	スポーツボランティア情報の発信	スポーツボランティア登録者が、より多くの情報に触れ、様々な活動の機会を得るため、スポーツボランティア参加イベントの募集や活動状況の報告、参加者の声等、スポーツボランティアに関する情報を広く発信する。	予算	394	当初予定数(定員等)	500部	—	—	スポーツボランティア登録者への従事募集情報の発信や「スポーツボランティアガイドブック」の配布等	ボランティア情報を随時メールにて送信した。また、日本ボランティアネットワークの情報を共有し、区が関与しない事業でのボランティア活動を推奨した。	区外団体等が主催するボランティア情報の収集を行う必要がある。	日本ボランティアネットワークと連携し、ボランティア募集情報や研修等の情報を共有していく。	スポーツ振興課
					決算	240	実績数	500部	100.0%						
							申込数	—	—						

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課		
【基本的な方向性(4)】 スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備														
40	37		スポーツ交流ひろば通信の発行	スポーツ交流ひろばの指導員に向け、スポーツ振興に関する情報等を発信する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	毎月1回、計12回発行した。	指導員への連絡事項やスポーツ振興に関する情報を、定期的に発信できた。	通知や調査が多い月は、返信を忘れてしまう指導員が多く、問合せも増加する。	調査事項の分散や、実施月の見直しを検討する。	スポーツ振興課
					決算	—	実績数	—						
							申込数	—						
41	37		地域スポーツ情報の提供	地域スポーツを普及・振興するため、区のスポーツ事業や地域スポーツ団体についての情報を発信する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	スポーツ事業やアスリートの報告会等において、事前周知や終了後の報告に、ホームページやSNSを活用し、積極的な情報発信を行った。	区が関与している事業を周知することにより、身近な場所で行われているスポーツ事業の情報が提供できた。	周知する情報を、より区民の目に触れやすくしていく必要がある。	事業に応じて、SNS等の効果的な広報ツールを組み合わせ、区民周知を図っていく。	スポーツ振興課
					決算	—	実績数	—						
							申込数	—						
42	37		各種メディアとの連携推進	区の魅力的なスポーツ事業等の取り組みを報道機関をはじめ各種メディアにリリースし、広く内外へ発信する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	「BUNKYO RUGBY DAY」や「あすチャレ！運動会」等、重点的に取り組んだ事業について、パブリシティを活用し、広く報道機関に情報を発信した。	ラグビーワールドカップや東京2020大会に向けて重点的に取り組んだ事業について、複数のツールで情報発信を行い、事業の周知と集客に繋げることができた。	メディアを通じて区内外に事業をPRするとともに、より多くの区民の目に触れるよう、効果的な情報発信を行うこと。	事業に応じて、効果的な広報ツールを組み合わせ、区内外への情報発信に取り組む。	スポーツ振興課
					決算	—	実績数	—						
							申込数	—						

令和2年度 事業調査結果A スポーツ分野(令和元年度実施事業)

【分野別目標4】 スポーツを通じた仲間づくりと交流

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課		
【基本的な方向性(1)】 スポーツを通じた仲間づくり														
43 (再掲)	21		社会教育関係団体登録制度による活動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行うことで、その活動を支援する。	予算	296	当初予定数(定員等)	—	登録団体数 1,159団体 (内訳) 生涯学習 642団体 スポーツ 517団体	登録団体名簿の関連施設への配架、ホームページへの掲載により、登録団体を広く周知し、区民の自主的な活動の促進につながった。	団体の活動状況を毎年度報告していただくことで、団体の実態と活動状況を把握し、自主的な活動を希望する区民に対し具体的な情報提供に努める。	アカデミー推進課/スポーツ振興課		
					決算	247	実績数	1,159 団体						
							申込数	—						
44 (再掲)	31	ス01-01	スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放する。夏季には昭和小及び音羽中でプール一般開放を実施、その他育成会等の申請によりプール団体開放を実施する。	予算	13,875	当初予定数(定員等)	—	スポーツ交流ひろば: 区立小・中学校18校にて実施した。 学校プール一般開放: 昭和小学校及び音羽中学校で実施した。 学校プール団体開放: 3校で実施した(1校は申請があったが、低温のため中止した)。	スポーツ交流ひろば: 延べ1,441日実施、延べ28,109人参加した。 学校プール一般開放: 延べ11日(3日は台風の影響または高温のため中止)実施、延べ1,192人参加した。 学校プール団体開放: 延べ8日(1日は低温のため中止)実施、延べ663人参加した。	指導員及び運営委員会の高齢化と、後継者不足。	2年に一度の委嘱の際に、指導員や運営委員会に後継者の推薦を依頼する。	スポーツ振興課	
					決算	11,610	実績数	29,964 人						
							申込数	—						
45 (再掲)	37	ス01-03	スポーツボランティアの養成	「支えるスポーツ」の担い手として、スポーツボランティアを登録、養成、派遣する。	予算	1,764	当初予定数(定員等)	—	・スポーツボランティア登録者数: 157人 ・令和元年度スポーツボランティア派遣人数: 323人 ・スポーツボランティア養成講座全4回: 受講者延べ20人	スポーツ事業・オリンピック・パラリンピック気運醸成事業を中心に、従事を依頼した。また、区外の自治体・ボランティア団体との連携により、区内で実施していない競技スポーツへの派遣数が増加した。区内学校の生徒を中心に新規のボランティア登録数が増加した。	東京2020大会の気運醸成及び大会成功の一助となるよう、より多くの事業への参加と、適した人材を確保する必要がある。	引き続き、区主催以外の事業へも派遣を積極的に行うほか、効果的な事業周知の工夫とSNS等により活動の露出を図る。	スポーツ振興課	
					決算	980	実績数	事業実施内容のとおり						
							申込数	—						
【基本的な方向性(2)】 スポーツを通じた交流														
46	39		カイザースラウテルン市長杯文京区少年サッカー大会	姉妹都市提携のカイザースラウテルン市(ドイツ)が2006年のワールドカップドイツ大会で開催都市となったことを記念し、少年サッカー大会を実施している。	予算	1,510	当初予定数(定員等)	—	・中学生大会(TOKYO UNITED CUP) 8/27(月)・28(火)・29(水)・30(木) 参加実績4チーム※別途区外招聘2チーム ・小学生大会 ①1年生の部・2年生の部 12/1(日)・8(日) 参加実績 1年生: 9チーム 2年生: 10チーム ②3年生の部・5年生の部 令和2年1/12(日)・13(月祝) 参加実績 3年生: 11チーム 5年生: 7チーム ③4年生の部・6年生の部 令和2年2/16(日)・22(土)・23(日) 参加実績 4年生: 10チーム 6年生: 6チーム	令和元年度は57チーム参加した。	—	—	スポーツ振興課	
					決算	1,502	実績数	実績のとおり						
							申込数	実績のとおり						
47 (再掲)	28		親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子で気軽に参加することができるスポーツ教室を開催する。	予算	364	当初予定数(定員等)	104 人	・親子はぎ釣教室: 7月20日(土)実施(旧中川河川敷) 定員: 80人 参加数: 36組72人 応募数: 107組291人 ・親子ボウリング教室: 8月31日、9月7日・14日(土)全3回実施(東京ドームボウリングセンター) 定員: 12組24人(3日実施) 参加者数延べ36組72人 応募数: 102組205人	親子で気軽に楽しくスポーツをする機会を創出することができた。また、多くの子どもたちが2種目に対し興味、関心を持った。	両教室とも応募数が多く、抽選倍率が高い。	—	スポーツ振興課	
					決算	376	実績数	144 人						138.5%
							申込数	296 人						284.6%
48	39		ニュースポーツ教室・大会	障害の有無や年齢に関わらず一緒に楽しむことができるニュースポーツを普及するため、ドッジビーやポッチャ等の教室や大会を実施する。	予算	401	当初予定数(定員等)	—	ニュースポーツ教室(通年事業・申請に応じてドッジビー・ポッチャ等の出前教室)実施回数15回、参加人数延べ576名 ・みんなで楽しくドッジビー大会(中止) 令和2年3月8日(日) 申込: 60チーム562名	平成30年度に引き続き、ドッジビー大会も申込数は増加した。	大会の参加人数が多数集まった場合の会場の動線や安全の確保等について工夫する必要がある。	委託先のスポーツ推進委員と協議を重ねていく。	スポーツ振興課	
					決算	236	実績数	実績のとおり						
							申込数	実績のとおり						